

科目名	税理士科目Ⅶ-1						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	96時間	担当者	小林 憲一		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	税理士事務所において 税理士として勤務		
対象学科・学年	税理士専攻科4年						
授業概要	消費税は、商品やサービスを購入した場合に課税される税金です。分類としては間接税になり、税金を負担する者と税金を納める者が異なっている税金である。製造や流通を行っている各事業者は、最終的な消費者が負担する税金を一時的に預かっているという状態にあり、一定の要件を満たしていれば、課税事業者として預かった消費税の納付をする手続き及び申告書の作成を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					消費税法の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、申告書の作成ができる。	
テキスト・教材 参考図書	TACテキスト・トレーニングNo4 理論マスター、理論ドクター						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-4	簡易課税制度解説				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5-8	簡易課税制度演習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9-12	リバースチャージ等 解説・演習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13-16	実力テスト 演習・解説					
	17-20	特定課税仕入れに係る対価の返還等 解説・演習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	21-24	譲渡等の時期等の特例 解説・演習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25-28	合併の場合の中間申告制度 解説・演習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	29-32	納税義務の免除の特例 解説・演習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	33-36	税抜経理・不動産業 解説・演習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	37-40	国等に対する特例				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
41-44	実正の請求・届出等 解説・演習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
45-48	実力テスト 演習・解説						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する (2)宿題・レポートを課す。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	◎				80%
	宿題・レポート	○	◎				20%
履修上の注意							

科目名	就職実務V						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	税理士専攻科4年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・就職採用試験の為に「履歴書」「エントリーシート」を作成する。 ・就職試験の面接に合格する為に模擬面接を行い、質問の趣旨に沿った的確な受け答えが出来るようになる。 ・ナビサイトを利用したエントリーや申請の方法を学び、受験の流れを確認する。 						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				志望する業界・職種についての特徴を正しく理解し、志望理由を説明できる。	
	○	○				学んで来た資格や自身の強みについて体系的にまとめ、履歴書を作成できる。	
	○	○	○			面接の手順を理解し、ロールプレイングにおいて立ち居振る舞いを実行できる。	
	○	○				面接において受けた質問に対して的確に受け答えを行える。	
○	○				ウェブの就職活動ナビサイトを利用し、エントリーや受験手続を実行できる。		
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック(麻生塾)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1- 2	就職環境を知ろう①就職活動の流れとスケジュール					
	3- 4	就職環境を知ろう②様々な雇用形態と働き方					
	5- 6	自己分析・他己分析①					
	7- 8	自己分析・他己分析②					
	9- 10	仕事研究①会社の基礎知識				企業研究レポートを作成・提出。	
	11- 12	仕事研究②業界と職種					
	13- 14	自己表現①自己PR作成				自己PR等の課題を作成・提出。	
	15- 16	自己表現②志望職種と志望業種					
	17- 18	ウェブによる就職活動(ナビサイトの活用とエントリー)					
	19- 20	面接試験対策①求職票受付面接について学ぶ					
	21- 22	面接試験対策②面接のマナーと動き					
	23- 24	面接試験対策③グループディスカッション					
	25- 26	面接試験対策④よくある質問の傾向と対策					
	27- 28	面接試験対策⑤ロールプレイング					
	29- 30	面接試験対策⑥課題フィードバック					
	評価方法	(1)課題(自己PR・履歴書の作成など)を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はR(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
履歴書・レポート提出		○	◎				40%
面接練習		○	◎	◎	◎		40%
授業態度、出席状況					◎		20%
履修上の注意	出席が20回(全30回)に満たない場合は単位認定できない。						

科目名	税理士科目Ⅶ-2						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	96時間	担当者	小林 憲一		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	税理士専攻科4年						
授業概要	消費税は、商品やサービスを購入した場合に課税される税金です。分類としては間接税になり、税金を負担する者と税金を納める者が異なっている税金である。製造や流通を行っている各事業者は、最終的な消費者が負担する税金を一時的に預かっているという状態にあり、一定の要件を満たしていれば、課税事業者として預かった消費税の納付をする手続き及び申告書の作成を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					消費税法の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、申告書の作成ができる。	
テキスト・教材 参考図書	TAC 直前対策テキスト、演習問題						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-4	直前対策 改正編 解説				総復習を行うこと	
	5-8	直前対策 改正編 演習				総復習を行うこと	
	9-12	直前対策 理論編第1回 解説				総復習を行うこと	
	13-16	直前対策 理論編 第1回 演習				総復習を行うこと	
	17-20	直前対策 計算編 第1回 解説				総復習を行うこと	
	21-24	直前対策 計算編 第1回 演習				総復習を行うこと	
	25-28	実力完成答練① 演習・解説				総復習を行うこと	
	29-32	直前対策 理論編 第2回 解説				総復習を行うこと	
	33-36	直前対策 理論編 第2回 演習				総復習を行うこと	
	37-40	直前対策 計算編 第2回 解説				総復習を行うこと	
	41-44	直前対策 計算編 第2回 演習				総復習を行うこと	
	45-48	実力完成答練② 演習・解説				総復習を行うこと	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する (2)宿題・レポートを課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○					80%
	宿題・レポート	○					20%
履修上の注意							

科目名	税理士科目Ⅶ－3						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	48時間	担当者	小林 憲一		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	税理士専攻科4年						
授業概要	消費税は、商品やサービスを購入した場合に課税される税金です。分類としては間接税になり、税金を負担する者と税金を納める者が異なっている税金である。製造や流通を行っている各事業者は、最終的な消費者が負担する税金を一時的に預かっているという状態にあり、一定の要件を満たしていれば、課税事業者として預かった消費税の納付をする手続き及び申告書の作成を学ぶ。						
授業形式	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					消費税法の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、申告書の作成ができる。	
テキスト・教材 参考図書	TAC 直前対策テキスト、演習問題						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	直前対策 理論編 第3回 解説			総復習を行うこと		
	5-8	直前対策 理論編 第3回 演習			総復習を行うこと		
	9-12	直前対策 計算編 第3回 解説			総復習を行うこと		
	13-16	直前対策 計算編 第3回 演習			総復習を行うこと		
	17-20	実力完成答練③ 演習・解説			総復習を行うこと		
	21-24	巻末付録 解説					
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する (2)宿題・レポートを課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○					80%
	宿題・レポート	○					20%
履修上の注意							

科目名	税理士科目Ⅷ－1						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	96時間	担当者	小林 憲一		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	税理士専攻科4年						
授業概要	国税徴収法とは、所得税や消費税のような税金ではなく、国税をどのように徴収するかに関する法律である。基本的には、税金は納税者が指定された期日までに自主的に現金で納付していくものですが、中には指定期日を過ぎても納付されないケースもある。そういった場合において、どのように滞納された税金の納付を進めていくかということ学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					国税徴収法の目的・内容・特色・地位について理解できる	
	○					国税の優先権と他の債権との調整ができる	
	○					第二次納税義務について理解できる	
	○					滞納処分について理解できる	
テキスト・教材 参考図書	・TAC テキスト／トレーニング／ミニテスト／実力テスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	財産の調査			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5-8	財産の差し押さえ(案件・請求)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9-12	財産の差し押さえ(手続き)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13-16	実力テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	17-20	財産の差し押さえ(効力)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	21-24	交付要求			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25-28	換価及び配当			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	29-32	国税と他の債権との調整(原則)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	33-36	国税と他の債権との調整(その他)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	37-40	実力テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	41-44	民法(時効～失敗特権)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	45-48	民法(質権～借地権)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する (2)宿題・レポートを課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○					80%
	宿題・レポート	○					20%
履修上の注意							

科目名	税理士科目Ⅷ－２						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	96時間	担当者	小林 憲一		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	税理士専攻科4年						
授業概要	国税徴収法とは、所得税や消費税のような税金ではなく、国税をどのように徴収するかに関する法律である。基本的には、税金は納税者が指定された期日までに自主的に現金で納付していくものですが、中には指定期日を過ぎても納付されないケースもある。そういった場合において、どのように滞納された税金の納付を進めていくかということ学ぶ。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					国税徴収法の目的・内容・特色・地位について理解できる	
	○					国税の優先権と他の債権との調整ができる	
	○					第二次納税義務について理解できる	
	○					滞納処分について理解できる	
テキスト・教材 参考図書	・TAC テキスト／トレーニング／ミニテスト／実力テスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	民法(仮登記～不動産登記法)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5-8	民法(許害行為取消権～賃貸借契約)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9-12	民法(債権の譲渡・消滅～強制執行・仮差押え)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13-16	国税と他の債権との調整(債権の優先等)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	17-20	国税と他の債権との調整(競合の調整)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	21-24	国税と他の債権との調整(物的納税責任)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25-28	国税と他の債権との調整(例示計算問題)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	29-32	第二次納税手続(徴収手続)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	33-36	第二次納税手続(合名会社等の社員)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	37-40	第二次納税手続(清算人等)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	41-44	第二次納税手続(清算受託者等)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	45-48	第二次納税手続(同族会社)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する (2)宿題・レポートを課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○					80%
	宿題・レポート	○					20%
履修上の注意							

科目名	税理士科目Ⅷ－3						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	48時間	担当者	小林 憲一		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	税理士専攻科4年						
授業概要	国税徴収法とは、所得税や消費税のような税金ではなく、国税をどのように徴収するかに関する法律である。基本的には、税金は納税者が指定された期日までに自主的に現金で納付していくものですが、中には指定期日を過ぎても納付されないケースもある。そういった場合において、どのように滞納された税金の納付を進めていくかということ学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					国税徴収法の目的・内容・特色・地位について理解できる	
	○					国税の優先権と他の債権との調整ができる	
	○					第二次納税義務について理解できる	
	○					滞納処分について理解できる	
テキスト・教材 参考図書	・TAC テキスト／トレーニング／ミニテスト／実力テスト／直前対策テキスト・演習問題						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	第二次納税手続(実質課税額等)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5-8	第二次納税手続(行為計算の否認)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9-12	第二次納税手続(特殊関係者)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13-16	第二次納税手続(低額譲受け)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	17-20	第二次納税手続(共同的事業者)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
21-24	第二次納税手続(人格のない社団等)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する (2)宿題・レポートを課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○					80%
	宿題・レポート	○					20%
履修上の注意							

科目名	日商簿記対策区						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	24時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	税理士専攻科4年						
授業概要	日商簿記検定1級の高度の資格試験に合格することが目標。企業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告する知識を習得する。講義では、過去試験問題の演習を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					会計専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、説明ができる。	
テキスト・教材 参考図書	日商簿記1級 過去問題集/TAG合格テキスト 日商簿記1級						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	過去問題演習/オプション、減損会計 為替予約、CF計算書				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	2	過去問題演習/企業結合会計、ストック・オプション、償却原価法				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3	過去問題演習/資産除去債務、財務比率				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	過去問題演習/本支店会計、ソフトウェア、退職給付会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	過去問題演習/連結会計、純資産会計、会計方針の変更等				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	6	過去問題演習/工事契約会計、ヘッジ会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	過去問題演習/会社の清算、外貨建て有価証券、自己株式				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	過去問題演習/割賦販売、資産除去債務、連結会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9	過去問題演習/リース会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	10	過去問題演習/電子記録債権・債務				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	過去問題演習/キャッシュフロー見積法				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	12	過去問題演習/棚卸資産				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				80%
	確認テスト		◎				10%
	宿題・レポート		◎		◎		10%
履修上の注意							